



やすらぎ

芙蓉会

理事長挨拶 医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

12月に入り、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。今年の流行語大賞に「ふてほど」が選ばれました。個人的には大谷選手の「50-50」を期待していましたが、社会背景や様々な理由で選出されたのでしょうか。ドラマのタイトルを短縮した表現ですが、まだ視聴した事がないので、年末年始の楽しみにしたいと思います。

先月末、東京都町田市のふよう病院に、待望久しいインドネシア特定技能外国人14名が来日し、12月1日から正式採用として入職しております。今年の3月、現地にて面談を実施してから約8か月での入職でした。来日までの期間に複数回、WEB上でのやり取りはありましたが、全員の顔つきを改めて拝見し、安堵している所です。ふよう病院では、昨年11月より教育棟をB棟3階介護医療院に設置し、特定技能外国人及び新規入職者は配属前に教育棟での教育、実習を義務化しております。開始時は、不安な点も多くありましたが、関係者の方々の協力体制の下で、実績を出してくれています。現在は、教育棟をB棟2階に移動して、医療療養病床での活動を開始しております。当面はかなりの大所帯になりますが、未来志向の考え方で取り組んでくれると信じております。

来年3月には、いよいよ電子カルテの正式稼働が控えております。配線の設置もほぼ終了し、



各グループによる打ち合わせにも熱が入ってまいりました。業務効率化の一環として電子カルテ導入を決定しましたが、同時に今後の課題も露呈されつつあります。

- ・操作に慣れるまでに時間がかかる
- ・テンプレート等の統一の必要性
- ・災害時に利用できない可能性
- ・コストの増加

他にも気掛かりな点はありますが、特に「操作に慣れるまでに時間がかかる」事については、導入後1年間は覚悟した方が良く、導入済みの病院関係者からも聞いております。現状では、電子カルテ経験者が一部いるものの、パソコン未経験者も存在している事から、段階的な研修を設けてPCスキルの底上げを図っているところです。今後も病院のレベルアップを目指して参ります。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



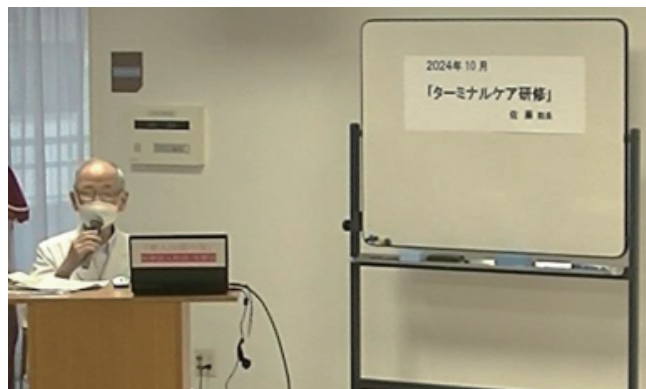
- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション

2024年10月「医療倫理・ターミナルケア研修」

発行者：佐藤 勉 院長

内容：「安楽死」をテーマにして、自ら死を選ぶことについての是非と、各々の死生観を問いました。

身近に感じる事が難しいテーマなので、2022年に公開された「PLAN75」という映画を題材にし、少子高齢化の進んだ日本で、75才以上になったら健康であっても安楽死を選択できるようになるという映画内の架空の設定のもと、78才で生活苦に陥った主人公の女性とその選択をしたことを例にとって講演されました。



2024年10月 医療安全②「事故防止への取り組み」

発行者：医療安全部会

内容：一般にヒヤリハット報告にあたる内容を、当院ではインシデント・アクシデントレポートに記載して提出することになっています。今回の研修では、かねてより書式の改正を望む声と事故防止のための取り組みを強化したいという医療安全部会の意向もあり、11月より書式変更と新書式を追加することになったことと、年間を通しての事故報告内容の詳細について報告。研修後半は事例についてグループ討議し、新しい書類に記入する時間を設けるとともに今後の再発防止に向けたレポート集計・評価システムの構築について説明しました。



2024年11月 BCP「感染」研修・訓練

「个人防护服 (PPE) の着脱方法 / ケアの場面に応じた正しい PPE の選択」

発行者：感染部会

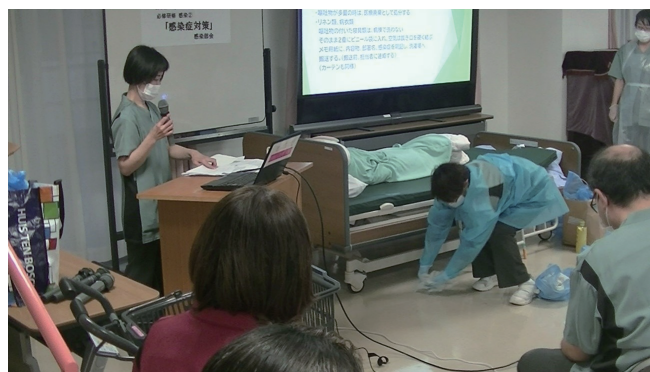
内容：BCP (Business Continuity Plan = 事業継続計画) のうち、感染症蔓延時の対応について研修・訓練を実施しました。研修では、感染を「拡げない」ために着用する PPE (个人防护具) の着脱手順と、想定される場面に応じた PPE の選択方法について説明した後、参加者全員が PPE を実際に手順に沿って着脱する訓練を実施しました。



2024年11月 感染②「嘔吐物処理について」

発行者：感染部会

内容：ノロウイルス感染症等が発症した際、嘔吐物の取り扱いについては十分な注意が必要で、正しい知識と的確な作業ができることが職員に求められます。前年の研修では感染症の種類やそれぞれの予防・対処方法を医薬品メーカーの方に講義していただきましたが、今回は実際にどうすれば良いかを実践を交えた形式にして研修を行いました。



2024年12月特定技能介護職員入社式

発行者：人事課

内容：12月からグローバル人材として、インドネシアからの特定技能介護職員14名を受け入

れました。皆さん、日本で働くことを強く希望して来日されました。

当法人での活躍を期待しています。



2024年9月防災訓練

発行者：ふよう病院 防災委員会

内容：東京地方に直下型の地震が発生し、ライフラインが途絶するとともに当院でも被害が出たことを想定して地震想定防災訓練を実施しました。災害対策本部の設営から、非常食の炊き出し、非常用仮設トイレの屋外設置、消化訓練等を行いました。

医）芙蓉会では、実際の災害時により良い備えができるようにするため、繰り返し防災訓練を実施しております。



2024年9月 消防大会参加

2024年9月13日開催された「町田市自衛消防技術発表会」に、法人の代表者2名が参加しました。この発表会には職員の消防技術と防災意識の向上のために、コロナ禍で中止になった期間を除いて毎年参加していますが、女性職員が8割を占める当法人では、他事業所が男同士

のペアが多いのに対して、男女ペアでの出場が多くなります。災害時に大切なことの一つに、誰にでも聞こえるように大きな声で報告することが挙げられますが、今回出場した2名も他のチームに負けず大きな声を出して健闘しました。



2024 年度 敬老祭

発行者：人事課

内容：毎年恒例の「敬老祭」が行われました。以前は、500人以上の一般の方にもご参加いただいていたのですが、まだ時期早々と判断し、法人内のご利用者に喜んでいただける企画を考えました。ゲームやお菓子、ドリンクの配布だけでなく、各施設対抗の「ボッチャ大会」を開催。大会の盛り上げ役として企業スポンサーをさせていただいているフットサルチーム「ペスカドーラ町田」のチアリーダーの方達にも参加していただきました。また、昨年好評だったシャンソンショーを、プロの歌手と演奏家の方をお招きして実施しました。イベントに参加されたご利用者の皆さんが笑顔になられ、中には涙を流

されている方もお見受けしましたので、開催して本当に良かったと思える敬老祭になりました。



2024年12月褥瘡対策委員会研修「カデックス軟膏の使い方」

発行者：スミスアンドネフュー

内容：カデックスは褥瘡・皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）に活用でき、従来のポピドンヨードシュガーに比べ、殺菌力の持続時間が長いという事です。バイオフィルムを除去することで効能が高まることもお聞きしました。

千葉芙蓉病院は褥瘡を有した状態で入院される患者が約35%です（令和5年度調べ）。今後の治療・ケアに役立つ情報として良い学びの機会になりました。

